

第10号に引き続き、今回も進路学習会のお話しです。今回は那覇高校と豊見城高校です。

那覇高校 普通科2年

嵩原マリアさん

安室ケイレンさん

たけはら まりあ

あむろ けいれん



こんにちは。那覇高校2年の**嵩原マリア**です。私は推薦で那覇高に受かったのですが、そのときの話をします。最初から推薦は考えていましたが、3年生の前半は意識が足りなくて1・2年の時よりも成績を落としてしまいました。でも推薦を確実に視野に入れるようになってから、先生の話をちゃんと聞く、提出物をちゃんとするなどの基本的なことをしっかりとやっていました。私は、筆記試験に対して自信がなくて、那覇を推薦で落ちたら一般で小祿に受けようとか考える時期がありました。でも、今は那覇に入って勉強も部活も行事も全部が充実していて、本当に那覇高校に入って良かったなと思っています。今、みんなは推薦で那覇に行こうと思っているけど推薦がダメだったら他の高校に行こうとか自分みたいに思う人も出てくるかもしれないけど、自分なりに一生懸命チャレンジすることって大事だから、強い思いを持ってほしいと思います。那覇だけじゃなくて。みんなの中には入試対策だけやって学校の勉強はいいやとか思っている人がいるかもだけど、特に推薦の人は、そう思わないでほしいです。理由は、推薦はちゃんと学校のことをやって模範的な生徒であって、先生たちからの信頼があってこそその金中代表なので、高校に出しても恥ずかしくない生徒を推薦で出すから、基本的なことをしっかりやってほしいです。

那覇高校2年の**安室ケイレン**です。一般入試について話しますが、自分は1年生の頃からずっと那覇って決めていて、それは3年生になっても揺らぐことはなかったです。最初は推薦で出そうとして、推薦で受ければ受験勉強はしなくていいとか甘い考えをしていて、英検準2級で推薦を出したが校内で落ちてしまいました。それで推薦は甘くないと現実をつきつけられました。でも一般で絶対受かるって気持ちで必死に勉強して、平日でも最低3時間は勉強したし、休日でも最低6時間、多くて8時間とか朝から夜まで塾にこもっていました。季節的には今くらいの夏から本格的に受験勉強をしていました。受験勉強をする中で、数学が1番苦手な問題が出てきたら精神的に病んで、まわりは解けているのになんで自分は解けないのだろうというのもあって、倍率がたときは「絶対落ちる」と思って大泣きしたときもありました。でも塾に同じ那覇に行きたいという友だちがいて、1年生の頃から仲が良くって親友でライバルの存在がいたので、だからこそ今、那覇高代表としてここに立つことができたんだなと思っています。受験勉強の方法は数学とかは60点満点の30点分は大問1と2に入っているの、その大問1と2を平成元年から30年までの30年間分を解いて、確実に全問正解するようにしました。そのほかの勉強は、この文章の時はこの単語といった方法で覚えていました。

那覇高校についての説明は、那覇高には3大行事があって「城岳祭」という文化祭と生徒会が主催している行事と体育祭があって、その行事を行う前にいつも体育館とかで那覇高の全校生徒が集まって円陣を組む動画があるのでそれを見て下さい。

～ 円陣の動画や様々な写真を電子黒板で見せながら、説明を行う ～

たぶん那覇高はイメージ的に勉強勉強と思っている人が多いと思うけど、行事や部活もさかんなので那覇に来たい人は受験勉強、頑張ってください。



豊見城高校から来ました。**金城一誠**です。豊見城高校は全校生徒1000名近くいて、1学年8クラスあります。また、特進と選抜クラスがあって、特進は受験の時に希望した生徒が入れます。選抜は普通クラスの中でも勉強が得意な生徒が集まっています。特進は早朝講座がありますが選抜はありません。部活をしながら大学進学を重視している人にオススメです。豊見城高校は普通科しかありませんが、ビジネス基礎や情報処理などの普通高校では珍しい検定を取得できます。自分が豊見城高校を選んだ理由として、行事が多く、1年生歓迎球技大会や遠足、校内陸上などがあり、とても雰囲気の良い学校だと思ったからです。部活もさかんでどの部活も全国大会を目指して頑張っています。豊見城高校は近年、人気が出てきていて倍率も上がってきているので、大学進学や専門学校に行きたい人がいっぱいいるし、推薦で大学に行く人が多いので高校に入っても内申などは大事になってくるので、最初から心がけていた方がいいです。

豊見城高校の**比嘉星太**です。自分は受験についておしゃべりします。受験が近くなって勉強を始めると、詰め込みすぎて頭の中がごちゃごちゃになるので、今のうちから少しずつやれば必ず力がついていきます。みんなならできます。頑張りましょう。みんな勉強があまり好きじゃないから、勉強に入るまでが長いと思うけど勉強に入ったら絶対、集中するから自分で時間作ってやれるときにやって下さい。今、志望校がぎりぎりの人はあきらめないで頑張ってください。第1希望の学校の方が行って後悔しないし、やりがいがあって自分のやりたいことも見つけられると思います。将来につながるなら、今行きたい高校をあきらめないで頑張ってください。無理と思うのではなく「できるまでやる」とか「できたら次はこの問題をやる」とか自分でレベルを上げることで成功につながるから頑張ってください。コロナで休講中の時は、高校では「スタディサブリ」というのがあって、高校から動画とかが送られてきて問題を答えるなどの課題がありました。それも成績に入るから、もし高校生になったときにコロナが流行っていても、授業に追いつけるように頑張ってください。



那覇高校生の動画での説明



豊見城高校生による説明



高校生の先輩方、ありがとうございました!!